

Title	ドイツ語の話法の助動詞sollenについて : sollen/sollte+完了不定詞
Sub Title	Gebrauchstendenz der Struktur „sollen/sollte + Infinitiv Perfekt“
Author	板倉, 歌(Itakura, Uta)
Publisher	慶應義塾大学日吉紀要刊行委員会
Publication year	2012
Jtitle	慶應義塾大学日吉紀要. ドイツ語学・文学 (Hiyoshi-Studien zur Germanistik). No.49 (2012.) ,p.103- 117
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	大谷弘道教授退職記念号 = Sonderheft für Prof. Kodo OTANI
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN10032372-20120330-0103

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

ドイツ語の話法の助動詞 *sollen* について

—— *sollen/sollte* + 完了不定詞 ——

板 倉 歌

1. はじめに

本稿ではドイツ語の話法の助動詞のうちの *sollen* を扱う。これまで文法書などで詳細な意味記述のあまりなされていない「*sollen* + 完了不定詞」構文に特に注目し、書きことばコーパス（新聞）を用いてこの構文の使用傾向を、時制、主語の人称・数とのかかわりで明らかにする。

2. 文法書の記述

Duden (2005: 564ff.) は *sollen* の用法として、①非認識的用法、②認識的用法、③ *sollte* の形で条件文や修辭的疑問文における可能法を挙げている。これによると、①の非認識的用法は、可能ないし必然を意味し、その際のモダリティの源は主語の外に存在する。このモダリティの源には例文 (1) から (4) に見られるように、(1) 法・規範・原則、(2) 具体的又は外的な状況・運命、(3) 助動詞と共起している本動詞の示す行為目的、(4) 主語以外の意志や話し手の意志の場合がある。

- (1) Du sollst nicht töten.
- (2) Diese Annahme sollte sich als richtig erweisen.
- (3) Die Änderung des Strafrechts soll mögliche Täter abschrecken.

(4) Du solltest mir zuhören.

②の認知的用法は、話者の発言の根底には主語共演成分とは別人である第三者の主張または知識に基づく推測があり、その真実性について話者自身は保証しない、ということを表す (5)。

(5) Dem Vernehmen nach sollen sich die Geiseln noch in Teheran befinden.

③の用法は、非現実の条件文にかかわるもので、接続法Ⅱ式の意味の sollen 過去形 + 不定詞 (完了不定詞) が条件文に出現する (6)。

(6) Sollte es diesmal schief gehen, so versuchen wir es einfach ein zweites Mal.

Duden 記載の③の用法は、sollen の過去形が接続法Ⅱ式の意味の場合、つまり接続法Ⅱ式 sollte と、不定詞 (完了不定詞) が結びついたもので、本稿で扱う「sollen (現在形/過去形) + 完了不定詞」の意味には言及されていない。この構文の意味に関して記述があるのは Kaufmann (1962) で、以下の意味が挙げられている。

(a) 伝聞, (b) 反論, (c) 無関心, (d) 憤慨, (e) 第三者の主張に対する疑念・驚き, (f) 疑念 (接続法Ⅱ式 + (etwa) doch の形で表される), (g) 驚き, いぶかしさ (接続法Ⅱ式 + etwa/ wirklich/ tatsächlich), (h) ある人物・事象が特定の要求・期待にこたえるにはどのような行為・前提条件が期待されるか, (i) 潜在的条件文 (接続法Ⅱ式)

この Kaufmann による分類以外には、これまでのところ、「sollen + 完了不定詞」構文の意味に関してシステムティックに記述されたものが見当たらない。そこで本稿では、今回は特に新聞記事に限ってであるが、この構文の実際の使用傾向を探ることとする。

3. 調査

調査には、Institut für deutsche Sprache のコーパス、COSMAS II を用いた。このうち、書き言葉コーパスの中から Mannheimer Morgen 紙を選び、2006 年 1 月 1 日から 2009 年 12 月 31 日までの記事を調査の対象とした。

以下では、「sollen（現在形／過去形）+ 完了不定詞」の文例を、主語の単数形・複数形によって、そしてさらに人称によって分類し、その使用傾向を探る。

3.1. 「sollen（現在形）+ 完了不定詞」

調査にあたり、「sollen（現在形）+ 完了不定詞」の文例を主語の単数、複数別にまず分類し、それをさらに人称によって分類した。その結果、主語が単数形の場合、その主語は全て 3 人称であった。複数形の場合には、2 人称主語が 1 例あったが、それ以外の例文は全てこの場合も 3 人称であった。主語が単数の場合と複数の場合とで、文の意味のバリエーションと頻度分布に差が見られなかったため、この文型「sollen（現在形）+ 完了不定詞」については、主語の数別にせず、まとめてその意味のバリエーションとそれぞれの場合の特徴について以下に述べたい。

検出された *sollen* の意味に注目したところ、「伝聞」と「未来のある時点で完了するはずの予定」に分類することができた。このうちほとんどの例文が「伝聞」を意味していたので、はじめにこれについて述べたい。

まず「伝聞」を意味する *sollen* を含む文をさらに分類しようと試みた。すると、誰から聞き知ったか、その情報の源が挙げられている場合と、挙げられていない場合に分けられた。そこで次に、情報の源が挙げられてい

場合には、どのような形で挙げられているか詳細に分類したところ、主文内の「話す」という行為を表す動詞の主語、名詞句、前置詞句、wie 文で示されているとわかった。以下では順に、これらを見ていきたい。

まずは、sollen を含む文が伝聞を表し、その情報の源が誰なのかが主文の動詞とその主語によって見分けられる場合についてである。これは、主文である発話導入部に sagen など「話す」ことに関する動詞があり、その動詞の動作内容を行う主語が、報告内容を表す部分の情報源となる場合である。今回の調査データからは、このような例文は検出されなかったが、調査対象となっている「sollen+完了不定詞」文の前後に、このような動詞と主語を伴う文が現れ、「sollen+完了不定詞」文で表される内容を話した人物が誰なのか、情報の源を特定できる例は数多く見受けられた。次の例文(12)は「sollen+完了不定詞」の前に情報の源が現れる場合で、(13)は後ろに現れる例である。(12)では「sollen+完了不定詞」のひとつ前の文に、動詞 glauben が出ている。この主語は Wissenschaftler であるので、続く「sollen+完了不定詞」の文も、この研究者たちが考えている内容を筆者が聞いて書いたものと解釈できる。(12)は、先週ドイツの夜空に、大みそかのロケット花火のような光が走ったが、専門家は隕石が地球の大気圏に突入した時に燃えたものと考えている、という内容である。(13)の該当部分は、4人の酔っぱらった若者たちがノイエンハイマー幹線道路で暴れたと警察が発表した、というものである。1文目全体を2文目の das が受けており、それを警察が伝えたということなので、情報の源は警察となる。

(12) Kosmischer Besucher. Ein Meteorit hat in der vergangenen Woche den Abendhimmel in Deutschland wie ein Blitz erleuchtet. Viele Menschen hielten den Himmelskörper für eine verspätete Silvesterrakete. Andere machten sich Sorgen und riefen bei der Polizei an. Wissenschaftler glauben aber, dass ein Gesteinsbrocken die Ursache war. Der **soll** vom Weltall

durch unsere Atmosphäre – also die Gashülle der Erde – gestürzt und **verglüht sein**. Dabei entsteht der Lichtschein – auch bekannt als Sternschnuppe. mia (M09/JAN.06105 Mannheimer Morgen, 24.01.2009, S. 9;)

(13) Toilettenhäuschen auf der Fahrbahn

Vier betrunkene junge Männer **sollen** in der Nacht zum Donnerstag in der Neuenheimer Landstraße **randaliert haben**. Das teilte die Polizei mit. Demnach werden die 18 bis 25 Jahre alten Beschuldigten verdächtigt, nach Mitternacht mobile Toilettenhäuschen, Verkehrsschilder und Warnbaken auf die Fahrbahn geworfen zu haben. (M09/OKT.85866 Mannheimer Morgen, 30.10.2009, S. 22; Toilettenhäuschen auf der Fahrbahn)

(14) は情報の源が名詞で表されている例である。ケルンのサッカー選手 Freis のクラブ移籍に関する内容である。ここで「sollen + 完了不定詞」文の後ろに「うわさについて Freis はコメントするつもりがない」という文が続いていることから、「sollen + 完了不定詞」の部分はこの「うわさ」の内容を指していることになる。

(14) Bei den Geißböcken steht Freis, dessen Vertrag beim am Saisonende ausläuft, unter besonderer Beobachtung. Ihm wird ein intensiver Flirt mit den Rheinländern nachgesagt. Auch Borussia Mönchengladbach **soll** ein Angebot **vorgelegt haben**. Kommentieren will Freis die Gerüchte nicht. Fakt ist aber auch, dass der KSC noch keine schriftliche Offerte abgegeben hat. (M09/FEB.10484 Mannheimer Morgen, 09.02.2009, S. 7; Der Freis ist wieder heiß)

次に、情報の源が前置詞句で表されている場合を見る。調査資料中に出

現した前置詞は, laut, nach, zufolge であった。以下, 順に例を見る。

(15) は, 金銭問題を巡ってトルコ人二人の争いがあり, 警察がその目撃者を捜しているというものである。前置詞 laut を文中に含む「sollen + 完了不定詞」の文の意味は, 「当局によると, 貸した金を請求したのがこの争いのきっかけであったという。」である。

(15) Gläubiger kassiert Prügel statt Geld

Die Polizei sucht Zeugen für eine Schlägerei vor dem Kaufhaus “Horten”. Am Samstag gegen 17 Uhr mündete der Streit zwischen zwei Türken dort in Tätlichkeiten. Laut Behörden **sollen** Geldforderungen Auslöser für den Zwist **gewesen sein**. Während der 40-jährige Gläubiger verletzt zurückblieb, setzte sich sein Kontrahent in Richtung Altstadt ab. Zeugen, die die beiden trennten, wählen 06221/99 17 00. sin (M06/JUL.54474 **Mannheimer Morgen, 12.07.2006; Gläubiger kassiert Prügel statt Geld**)

次の (16) の内容は, ドイツスポーツ界が, いまだ予想のつかない規模の新たな薬物スキャンダルにみまわれそうだ, というものである。2 文目では, 全部で 30 名のスポーツ選手が客としてウィーンの血液銀行を訪れたという情報が記され, nach に伴われた前置詞句で, 「ARD のこれまで具体化にはなっていない情報によると」と, その情報源が示されている。

(16) Hamburg/Wien.

Auf den deutschen Sport kommt möglicherweise ein neuer Doping-Skandal noch unabsehbaren Ausmaßes zu. Nach bisher nicht konkretisierten Informationen der ARD **sollen** insgesamt 30 Sportler Kunden bei einer Wiener Blutbank **gewesen sein**. Rund zwei Drittel der Athleten, die illegal Blut-Transfusionen vorgenommen haben sollen,

stammen angeblich aus Deutschland.

(M08/JAN.04066 Mannheimer Morgen, 16.01.2008, S. 10; Schatten über dem Wintersport)

情報の源を示す前置詞の3つ目として、以下に *zufolge* の例を挙げる。

(17) の2文目は、「イギリスメディアの報告によると、リベリ選手はFCチェルシーと原則的には本拠地スタムフォードブリッジへの交代に同意したという。」となる。

(17) München.

Bayern München kämpft um Superstar Franck Ribéry, Luca Toni legt der Fußball-Rekordmeister dagegen offen einen Wechsel nahe. Britischen Medienberichten zufolge **soll** sich Ribéry mit dem FC Chelsea prinzipiell über einen Wechsel an die Stamford Bridge **geeinigt haben**.

(M09/MAI.41450 Mannheimer Morgen, 29.05.2009, S. 10; FC Chelsea lockt Ribéry)

次に、伝聞を意味する「*sollen*+完了不定詞」の文中で、*wie* 文が情報の源を示す例を挙げる (18)。この例は、ハイデルベルクの店に複数の人間が押し入り、価値にして10万ユーロ以上に上る衣類を盗んだという内容である。下線部「昨日警察が発表したように」で、「犯人は10日前に開店したばかりのアウトドアショップの鋼鉄製のドアを持ち上げた」という伝聞情報の源が示されている。これに接続法Ⅱ式で表された間接引用文が続いている。

(18) Beute von 100 000 Euro

Mehrere Unbekannte sind am vergangenen Wochenende in einen Laden in der Heidelberger Hauptstraße eingebrochen und haben Kleidung im Wert

von mehr als 100 000 Euro gestohlen. Wie die Polizei gestern mitteilte, sollen die Täter die Stahltür des erst vor zehn Tagen eröffneten „Outdoor-Store“ **aufgehoben haben**. Die Kleidung aus dem Lager- und dem Verkaufsraum hätten sie zunächst in schwarze Müllsäcke gepackt.

(M09/NOV.86963 Mannheimer Morgen, 03.11.2009, S. 23; Beute von 100 000 Euro)

上記 (12) から (18) まで、伝聞の情報の源が記載されている例を見てきたが、次の (19) は、情報の源が記載されていない場合である。しかしこのような場合でも、それらの記事が裁判、事件、事故についてのものであるため、その内容、場面から、情報の源は推測することができる。例えば (19) は、63 歳の女性を 26 歳の女と 28 歳の男が殴殺した事件の裁判についてであるから、この裁判での証言が、筆者の聞いた内容となるだろう。

(19) Ellwangen.

Sie **sollen** eine 63-jährige Frau in einer Obdachlosenunterkunft in Heidenheim zu Tode **geprügelt haben**. Wegen dieser Tat müssen sich seit gestern eine 26-Jährige und ein 28-Jähriger vor dem Landgericht Ellwangen verantworten. Ihnen wird Totschlag vorgeworfen. Die Angeklagten gestanden die Tat im Wesentlichen.

(M09/APR.32553 Mannheimer Morgen, 28.04.2009, S. 5; Frau zu Tode geprügelt)

以上、「sollen (直説法現在) + 完了不定詞」が「伝聞」を意味する場合の特徴を見てきたが、次は、この調査で観察されたもう一つの意味、「計画」を表す場合に注目する。

「計画」を表す場合には、未来のある時点で動詞の意味内容が完了する

ことが示されている。(21) の該当部分の訳は、「おそらく 2008 年の末までに古い橋は完全になくなってしまっている手はずである」となる。この例文の場合、実は「伝聞」の意味も考えられるが、その場合「おそらく 2008 年の末までに古い橋は完全になくなってしまっているという」の意味となる。しかしドイツ人インフォーマントによると、この例文を読んで、意味としてまずはじめに理解するのは、未来のある時点での完了であるとのことであった。

(21) Bauarbeiter trafen ab acht Uhr morgens alle Vorkehrungen für eine gut beschilderte Umleitung, die die Autofahrer durch die Heddeshheimer Straße über die Feldwegbrücke führt. Nach Angaben von Mitarbeitern der beiden leitenden Bauunternehmen „Herberger Bau“ und „STS Stahltechnik“ wird die alte Kanalbrücke in den kommenden Tagen auf ihren Abriss vorbereitet. Straßenlaternen und Leitplanken werden entfernt, der Brückenbelag soll abgefräst werden.

Dann beginnt der schrittweise Abriss. Bis voraussichtlich Ende 2008 **soll** die alte Brücke komplett **verschwunden sein**. Erst dann können sich die beauftragten Firmen an den Aufbau der neuen Neckarkanalbrücke machen. **(M08/AUG.60261 Mannheimer Morgen, 05.08.2008, S. 16; Trotz Sperrung kein Chaos)**

ところで、「sollen+完了不定詞」構文で、2 人称主語の例が 1 つだけ検出された (22)。この例は、(バイエルン州知事ギュンター・ベックシュタイン (CSU) への) インタビュー記事の中にあつたものなので、話し手、聞き手が 1 人称、2 人称で現れている。この例での *sollen* は伝聞を表し、文の意味は「この間にあなたはシュレーダー元首相をロシアから報酬を得たスパイと言ったそうですね」となる。

(22) Wir fordern noch in diesem Jahr Entlastungen beim Arbeitslosenbeitrag und durch Erhöhung des Kinderfreibetrags und des Kindergelds. Das wird spätestens zum Januar 2009 wirksam werden. Die steuerliche Absetzbarkeit von Leistungen für die Krankenkassen, die Erhöhung des allgemeinen Grundfreibetrags und sonstige Entlastungen werden in den nächsten Monaten erarbeitet. Ich halte es für äußerst fraglich, ob man mit der SPD zu irgendwelchen Entlastungen kommen kann, denn all dies kann nur auf Bundesebene geregelt werden. So bleibt nichts anderes übrig, als es für die nächste Legislaturperiode ins Programm aufzunehmen. Das ist aber dann auch dringend notwendig, denn die derzeitige Steuerbelastung ist leistungsfeindlich.

Wie ist es mit der Fairness im Landtagswahlkampf bestellt? Inzwischen **sollen** Sie Ex-Kanzler Schröder als „bezahlten Agenten Russlands“ **bezeichnet haben**.

Beckstein: (M08/SEP.70987 Mannheimer Morgen, 11.09.2008, S. 4; „Konflikte in der SPD bleiben“)

3.2. 「sollte+完了不定詞」

この章では「sollte+完了不定詞」の文型を扱う。3.1.と同様にまず、主語が単数形か複数形かによって分類し、次に人称によって、コーパスからの例文を分類した。その結果、主語が単数形の場合、検出された例は全て3人称を主語とするもので、1人称と2人称主語の例文は検出されなかった。複数形の場合には、1人称の例が一つ検出されたが、そのほかは全て3人称であった。ところで sollte は形態的に、sollen の直説法過去形と、接続法Ⅱ式の2つの可能性があるが、今回のデータの「sollte+完了不定詞」構文では、過去形として用いられていた例は(23)のみ1件で、そのほかは全て接続法Ⅱ式として用いられていた¹⁾。

1) なお、コーパスに頻出した「sollte+<過去分詞+sein(状態受動)>」の

(23) は *sollte* が過去形の例で、その後の成り行き、結果がわかっている現在から振り返ってみた過去における未来を表している。以下、例文の概要である。厳しい馬車レースの後に表彰式が控えていた。レースの後で別の競技を見物に行った人たちもいたのだが、表彰式の時間厳守の進行のため、この人たちは走って戻らねばならなかった。しかし走るのはこの晩これで最後となることはなかった。ライバルたちと観客を楽しませるために、自転車でウィナーズランをする勝者のあとを追って「ギャロップで」自ら走って場内一周を成し遂げたのだった。

(23) Kaum hatten sich die Zweispänner-Fahrer von ihrer schweren Marathonfahrt durch das Gelände rund um den Jägerhof erholt, stand die Siegerehrung im Hofgeviert an. Die Pünktlichkeit des Reit- und Fahrvereins Jägerhof Biblis, brachte einige Kutschenfahrer erneut ins Schwitzen. Im Laufschrift kamen sie von der Besichtigung des Hindernisparcours, der für Sonntag angesetzt war. Aber diese schnelle

構文についてもここで一例記しておきたい。例えば下記の例は、2007年1月の記事で、なかなかかどらない道路工事に関するものである。*sollte*の文では、この工事は本来12月に完了しているはずだったと述べられている。Seit Anfang August 2006 geht es auf der A 659 zwischen Viernheim und Weinheim nur langsam voran. Vor allem Berufspendler mussten seither wegen der Sanierung der Fahrbahn viel Geduld aufbringen. Daran wird sich auch auf die Schnelle nichts ändern, denn an der Baustelle wird noch immer gearbeitet.

Dabei **sollte** die Maßnahme, die vom Amt für Straßen- und Verkehrswesen in Bensheim betreut wird, eigentlich schon im Dezember **abgeschlossen sein**. „Wir liegen in der Tat über vier Wochen hinter unserem Zeitplan zurück“, räumte auf Anfrage unserer Zeitung nun Amtsleiterin Kerstin Eckert ein.

(M07/JAN.07106 Mannheimer Morgen, 31.01.2007; Sanierung der A 659 verzögert sich)

Beinarbeit **sollte** nicht die letzte Aufgabe für sie an diesem Abend **gewesen sein**. Zum Gaudi vieler Konkurrenten und vieler Besucher mussten die Fahrenleute ihre Ehrenrunde „galoppierend“ auf zwei Beinen hinter dem auf dem Fahrrad fahrenden Sieger rund um den Innenhof absolvieren.

Mannheimer Morgen, 31.07.2006; Nicht nur Vierbeiner wirbeln viel Staub auf)

次に、「sollte+完了不定詞」構文の sollte が接続法Ⅱ式の場合を取り上げる。検出された接続法Ⅱ式の用法をさらに細かく分類したところ、平叙文では「要求」、「推量」の意味で用いられており、疑問文では反語的な意味で用いられていた。以下順に挙げる。

(24) は、「～であるのが望ましい」という要求を表している。接続法現在形の sollen の外交的用法である。例文の内容は、ドイツスポーツフィッシング愛好家連盟ヘッセンが、スポーツフィッシング協会 (ASV) ラムパートハイム 1920 とともに、フィッシング愛好家国家試験のための準備課程の説明会を開くというもので、「sollten+完了不定詞」文では、この課程の参加者は満 14 歳に達していること、と記されている。

(24) Der Landesverband Deutscher Sportfischer Hessen führt am 2. März, 18 Uhr, in Zusammenarbeit mit dem ASV Lampertheim 1920 eine Informationsveranstaltung zum Vorbereitungslehrgang zur staatlichen Fischerprüfung im Vereinshaus des ASV Lampertheim (am Schwimmbad) durch. Die Lehrgangstermine werden an der Informationsveranstaltung festgelegt. Anmeldungen beziehungsweise Vorabinformationen erhalten Sie beim Lehrgangsleiter [...]. Bei jugendlichen Lehrgangsteilnehmern unter 16 Jahren wird die Anmeldung von den Eltern erwünscht. Die Teilnehmer **sollten** das 14. Lebensjahr **erreicht haben**.

Kaninchenzuchtverein H65 Lampertheim (M09/FEB.14038 Mannheimer

Morgen, 20.02.2009, S. 16;)

次の(25)は、推量を表している。内容は、ビュルシュタット市の太陽光発電競技場についての意見で、以下のような概要である。この競技場ができたことで市民の環境意識が変わったかということそうは思わないが、しかしこの太陽光発電競技場はビュルシュタットのためになっている。それは市が対外的イメージをアップすることができたのみならず、バラック選手とそのチームメート達とともに興奮に震え、ともに祝うことによってビュルシュタットの市民たちがアイデンティティーを得たという点だ。このことは、財政投入した甲斐のあることだっただろう。

(25) のような推量を表す接続法Ⅱ式の *sollte* は、(24) の要求を表す場合と異なり、直説法現在形 *sollen* (要求) で言い換えることができない。

(25) Ob der gemeinsame Guck auf den Kick in der Solar-Arena das Umweltbewusstsein der Bürger befördert hat? Ich glaube nicht! Auf der Radrennbahn ging's während der vergangenen drei Wochen um Fußball. Und zwar um das Spiel der Deutschen. Bei anderen Spielen und Themen blieb das öffentliche Interesse ausgesprochen überschaubar. Gleichwohl ist die Solar-Arena Bürstadt gut bekommen. Mit dem größten gemeinsamen Großleinwand-Gucken im Kreis hat die Stadt nicht nur ihr Image nach außen hin erheblich gefördert. Auch für die Bürstädter war das große gemeinsame Zittern und Feiern mit Ballack und Co. eine identitätsstiftende Angelegenheit. Das **sollte** den finanziellen Einsatz wert **gewesen sein**. (M08/JUL.50463 Mannheimer Morgen, 01.07.2008, S. 15; Sonne lachte dem Fußball)

上記(24)、(25)は、「*sollte*+完了不定詞」が平叙文で要求や推量を表す場合であったが、次の(26)は、疑問文で話者の異議を反語的に表す

例である。チェリストのミーシャ・マイルスキーの肖像画が左右逆になっていたこと、ヴィオラ奏者のタベア・ツィンマーマンは、ヴァイオリン奏者と誤記されていたことが挙げられていて、最後の「sollte+完了不定詞」構文で、「それとも彼女は『弦』も変えたというのか？」と疑問文での反論を表している。

(26) Saitenwechsel

„Unendliches Gefühl“, Bericht über Mischa Maisky vom 29. 4. Die Abbildung von Mischa Maisky war seitenverkehrt; mir wäre jedenfalls nicht bekannt, dass er die „Saiten“ gewechselt hat. Und als große Bewunderin von Tabea Zimmermann, eine der renommiertesten deutschen Bratschistinnen, mutet es befremdlich an, in Ihrer Zeitungskritik über sie als Violinistin zu lesen. Oder **sollte** sie auch die „Saiten“ **gewechselt haben?**

Cornelia Brányik, Mannheim (**M06/MAI.35364 Mannheimer Morgen, 06.05.2006; Saitenwechsel**)

4. おわりに

本稿では、「sollen/sollte+完了不定詞」構文の意味と使用傾向を新聞コーパスをもとに調査した。コーパスから検出された例文を、sollenの現在形・過去形、主語の人称・数によって分類した。人称による分類では、数例を除いて全て3人称主語という結果となった。以下にもう一度まとめる。

「sollen+完了不定詞」構文の場合を意味によって分類したところ、「伝聞」と「予定・計画」に分けることができた。このうち「伝聞」を意味する文は、その情報の源が挙げられている場合と挙げられていない場合に分けられた。情報の源が挙げられている場合、その源は「話すという行為を表す動詞の主語」、「名詞句」、「前置詞句」、「wie文」で示されていた。情報の源が挙げられていない場合でも、場面から推測することができる

えられた。また、「*sollen*+完了不定詞」構文が「予定・計画」を表す場合には、動詞の意味内容が未来のある時点で完了することを表していた。

「*sollte*+完了不定詞」構文の *sollte* は、直説法過去形または接続法Ⅱ式であるが、直説法過去形の例は1件しか検出されず、あとは全て接続法として使用されていた。直説法過去形の場合は、その後の成り行きわかっている現在から振り返った過去における未来を表している例であった。接続法Ⅱ式の場合は、平叙文で要求、推量の意味で、疑問文では反語的な意味で用いられていた。

本稿の調査は新聞コーパスをもとにしたので、文体的な偏りがあったかもしれないが、*sollen* と *sollte* で使用に違いが見られたと言える。助動詞 *sollen* は認識的な用法で伝聞を表すとされているが、直説法現在形ではこれが第一の使用法であったのに、直説法過去形での例は疑問文1例しかなく、話者の反論が表されていた。*sollte* は直接法過去形としてよりも、圧倒的に接続法として用いられる傾向にあった。

文献

Duden (2005): Die Grammatik. Mannheim.

Kaufmann, Gerhard (1962): Der Gebrauch der Modalverben *sollen*, *müssen* und *wollen*. In: Deutschunterricht für Ausländer. Heft 5/6, 12. Jahrgang. S.154–172. München.